北海道・東北

 秋田県
 畠山美喜雄さん
 ミニテニス
 6

 三浦耕太郎さん
 ダンススポーツ
 7

 福島県
 荒川一三さん
 軟式野球
 8

 矢浪周作さん
 ゲートボール
 9



ミニテニス (監督兼選手)

はたけやま み き お 畠 山 美 喜 雄 さん 70歳 ●参加歴:1回目

初の秋田開催、初の競技種目採用、初の出場で優勝

9月9日から11日まで開催されたねんりん ピック秋田 2017 にミニテニスの監督兼選手とし て出場しました。

ねんりんピックが秋田県で初めて開催される こと、ミニテニスがねんりんピックの競技種目 として初めて採用されることから、参加したい と思いました。

開催県ということで5団体の出場枠をいただ き、私が所属する中央地区から2団体出場する ことになりました。中央地区の予選会は今年2 月に開催され、私は70歳の部で1位となり、ね んりんピック出場が叶いました。

大会はチーム3ペアによる団体戦で、予選 リーグ(2セットマッチ)と決勝トーナメント の組合せで優勝チームを決定する方式でした。

予選リーグは、AとBの2ブロックで、Aが9 チーム、Bが8チームの合計17チームが出場し、 当チームはAブロックでした。決勝トーナメントに は、A、B各ブロックの上位4チームの出場です。 10日に開催された予選リーグは、6試合が行わ れ、セット率と得失差で3位になり、翌日の決勝 トーナメントに出場することができました。

予選リーグ終了後に決勝トーナメントに出場 する代表者による抽選が行われ、私が抽選に参 加したのですが、全国大会で優勝した選手を擁 するチームと対戦することになってしまいまし た。チームの皆さんに申し訳ないと謝ったとこ ろ、主将が、相手の絶対的エースである選手と 私が当らなければ勝つチャンスがあるのではな いかと話されました。そこで二人で作戦を練っ て組合せ順を決め、準々決勝に挑みました。

結果、作戦が見事に的中し、2-1で勝利す ることができました。3位以内が確定し、勢い がついた当チーム。準決勝は、予選リーグでセッ ト2-4で敗れた岐阜県チームとの再戦でした が、これも組合せ順がうまくいき、2-0で勝利。 決勝へ進出しました。

決勝の相手は名古屋チームでしたが、チーム の勢いそのままに、2-0で優勝することがで きました。予選リーグ3位という、決して強い とは言えないチームが優勝できたのは、控え選 手も含め、チーム一丸となって対戦相手に挑ん

だ結果だと思います。

これも健康であるおかげです。これから

も、この体験を今後の 人生に活かして行きた いと思います。

開催にあたった、県、 関係機関、そして大会 スタッフの皆様のご難 儀に心から感謝申し上 げます。ありがとうご ざいました。



チームワークで優勝を果たした秋田中央 A のメンバー。(左から4人目)



フィーを誇らしく抱える。



ダンススポーツ (監督兼選手)

みうらこうたろう 三浦耕太郎さん 68歳 ●参加歴:2回目

観光・交流・競技の3つが楽しめる贅沢な大会

ダンスを始めたのは学生時代のことですから、もう50年近くになります。

ねんりんピックの競技種目にダンススポーツがあるということは以前より知っておりましたが、自分が参加する年齢になったとは感慨深いものがありました。

昨年度はながさき大会で、秋田から遠いことからなかなか選手がそろわないということで、私に参加の打診がありました。パートナーである家内と、「よし、遊びがてら行ってみようか」と参加しましたが、甘かったですね~。「60歳以上?嘘でしょ?」という感じで、皆さん若くてきれいで生き生きしていました。結果は惨敗でしたが、他県の同じ趣味の方たちと楽しく交流ができ、仲間たちとの観光も楽しかったです。

そして今年は当県開催。幸運にも2年連続で 出ることができました。地元とあって観光こそ

しませんでしたが、秋 田県のほかの競技種目 の選手や、他県のダン ス選手たちと楽しく交 流ができました。

今、私は町内会長とり 民生委員をやか何かた 基すが、ないでする。生な をないでですり を送る。の理想と 生を社会のでは とないます。 医療費います。 といます。 といます。 といます。 といます。 といます。 金を使うより趣味に使うほうがずっと健全です。 そのため私は年数回ダンスパーティーを主催しています。1回開催するごとに皆さん5歳ずつ若返っていくようで、皆さんがおに~さん、おね~さんになるのも遠いことじゃないのではないかと(笑)。

競技の成績はともかく、開催地で観光し、他 県の人たちと交流する。こんな楽しいことはあ りません。贅沢なことに、観光・交流・競技の 3つが一緒にできるんですよ! それに開催県 の方たちが開催場所にその県の"エキス"を持っ てきてくれます。親切に対応してくれます。し かも財団の方や県の担当の方が、面倒な宿や交 通手段の手配をしっかりやってくれます。

ねんりんピックに参加するということは素晴らしいことです。LL財団にはぜひこの行事を続けてほしいと思います。



本番、フロアーにてナチュラルターン。



本番、フロアーにてプロムナードポジション。



軟式野球 白河楽翁クラブ

^{あらかわかずみ} 荒川一三さん 69歳

参加歴:2回目

クラブとして23年ぶりの出場で、幸運に恵まれ優勝

ねんりんピック秋田 2017 で軟式野球が競技種目に復活することを知り、福島県還暦野球連盟にお願いしたところ、快く推薦をいただき、出場の運びとなりました。平成6年のかがわ大会以来の出場となります。

白河楽翁クラブは、平成4年に誕生して25年。数々の全国大会に出場した実績があります。「生涯野球」をモットーに掲げ、��咤激励しながら日々練習に励み、健康長寿を目指すともに、出会いを大切にしながら、試合では絶対諦めない、そんな粘り強いチームです。

大会で印象強く感激したことは、秋田県の「おもてなしの心」でした。総合開会式では、入場行進、それに続く数々のアトラクションなど参加者や観客を飽きさせない見事な進行演出でした。その後北へ進み、能代市での合同開始式に参加しました。式、会場共に素晴らしかったです。ただ、時間の都合で能代駅前のイベントが見られず残念でした。さらに北へ進むこと一時間、世界遺産に登録されている白神山地の麓の町、八峰町に到着。とても長い一日でしたが、明日から始まる大会に選手は心躍りました。

ねんりんピック秋田2017軟式野球交流大会

雨天中止による抽選となった決勝の相手、秋田還球クラブと共に。 (前列左から3人目)

第一試合終了後に行われた八峰町の歓迎会では、マグロの解体を初めて見ることができ、その場でいただきましたが、一味違った味わいでした。試合会場での昼食のお蕎麦、つみれ汁のおもてなしも大変美味しくいただき、開催地の皆様のお心遣いに感謝いたします。

さて、試合を振り返ってみると、二試合とも 接戦で最少点差一点の差で勝敗を分けました。

第一試合は福井オールスターズさんで、少ないチャンスを確実に点にしていく試合運びは見習うべきと感じました。第二試合は千葉県の市川ライオンズさんで、過去何度か負けていましたが、今回は勝ちを譲っていただいたのではないかと思っております。

決勝戦は地元の強豪秋田還球クラブさんでしたが、雨天中止のための抽選により幸運にも勝つことができました。戦っていれば負けていたと思ったのは私だけでしょうか。

今回参加してみて 25 種目という多くの競技があることを知りました。今後は、ねんりんピックの PR にも積極的に努めていきたいと思っております。

秋田市、能代市、八峰町、あきた白神体験セ



ンター、福島県老人クラブ 連合会、大会関係の皆様本 当にありがとうございまし た。また、白河市、矢吹町、 西郷村、泉崎村、浅川町か らいただきました応援に対 し、併せて感謝申し上げま す。秋田県の軟式野球の益々 の発展を期待いたします。

第一試合、福井県との対戦時の様子。(上)



ゲートボール 岩江チーム

や な み しゅうさく

矢 浪 周 作 さん 70歳 ●参加歴:1回目

選手として目の当たりにした大会運営の素晴らしさに感動

私たち岩江チームは、全国健康福祉祭(ねんりんピック)の予選を兼ねて、今年4月に開催された「第25回すこやか福島ねんりんピック」において、優勝を果たしたことから、あきた大会の出場権を獲得しました。

ねんりんピックの開催については、新聞、テレビ等で知ってはおりましたが、実際に選手の立場となって入場行進を行い、総合開会式の景色を目の当たりにすると、熱いものが込み上げてくるものです。チーム全員で感動しておりました。

式典前アトラクションでは、「なまはげ太鼓」が力強く、見事にオープニングを飾り、実り豊かな秋田の四季の中にある、夏の風物詩「竿燈まつり」が心に強く印象付けられたところです。

ゲートボール交流大会は、大館市の「ニプロハチ公ドーム」において開催されましたが、ドーム内に18のコートが設置されており、あまりの広さに大変驚きました。

また、本大会の参加を通して、審判団が全員

一級の資格をもっていること、女性審判員がテキパキとコールしていること等、さまざまな運営の実情を知り、その様子に触れて、大変素晴らしく、気持ちよく感じられました。

交流大会において私たち岩江チームは、第11 コートで予選リーグ戦3試合を戦い、2勝1敗 の成績でした。決勝トーナメントへは進むこと ができず残念でありましたが、選手は皆、善戦 することができました。

今回出場した選手は、岩江三地区から選抜された男性4名、女性3名の7名でチームを編成しいたしましたが、選手の平均年齢も77歳と高齢化が進んでいます。そのため、現在ゲートボールの新会員を募集しているところではありますが、なかなか加入者がいないのが現状です。

これからもねんりんピックに出場した経験を 忘れず、チームの雰囲気を盛り上げ、地区全体 のレベルアップと親睦を大切にして、邁進して 参ります。



競技会場でチーム集合写真。皆で善戦した。(後列右端)



広いドーム内に設置されたコートで気持ちよくプレイができた。